



四谷の千枚田で「青年塾」の研修会開かれる

○急な傾斜地、狭い耕作面積など、棚田における作業は苦勞の連続です。田に行き帰りするだけでも、骨が折れます。それでも、昔から人々は、食べていくために苦勞を苦勞と思わず働いてきたのです。

自然を相手にして、骨惜しみすることなく、ひたすら額に汗を流し、勤勉の極致まで働いた時に生まれてくるものは、実に美しいものです。棚田の美しさは、人間の勤勉な作業がもたらしてくれたものなのです。棚田の所々にあるブロックの石垣は、作業がしやすく、好評です。ところが、作業のしやすさを求めたものは、醜いのです。

棚田の復活は、日本人の心の美しさを取り戻す試みだと学びました。

『青年塾』塾長 上甲 晃



○「青年塾」第九期生・東海クラスの研修会を十一月十一日〜十三日に鳳来寺の東海市山の家で開催しました。

「青年塾」の研修会では志を持って活躍している人達から、現地現場で直接学ぶことに重きを置いています。九月二日〜三日に開催された棚田サミットにて、『先人の知恵と努力で築かれた美しい棚田を後世に伝

〔投句函〕  
千枚田の米が自慢の五平餅  
予約で並ぶ海老のおまつり  
海老 松井きみ恵

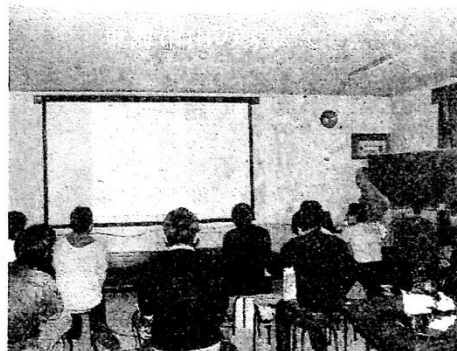
承しよう」と四谷の千枚田保存に取り組む地元の方々の活動に強い感動を受けました。棚田保存にかける思いを直接お聞かせいただきたく鳳来での研修会を計画し、鞍掛山麓千枚田保存会 理事 小山舜二さんに講師を引き受けていただけ



十二月の九時〜十二時まで棚田見学、一時から三時半まで「私の千枚田への思いと自然・環境の変遷」と題して小山さんに講演をし

ていただきました。当日は天気も良く、棚田を初めて見た塾生からはその美しさに感嘆の声が上がりました。しかし、直接棚田を見て、

生き方を深く反省させられ、目を覚ますきっかけとなりました。



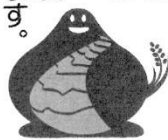
小山さんのお話しを聞くにつれ、その美しさは単に形だけではないことがわかりました。大惨事による不幸にもめげず、棚田を蘇らせた先人たちの血と汗の辛苦や、それを風化させることなく使命感を持って棚田を守り続けている皆さんの思いが棚田を真に美しくしているのだと気付かされました。私たちは便利さや手軽さを求め、古いものよりも新しいものに目を向けがちであるが、どんなものでも先人たちがどのような思いでそれを残してきたのかを、しっかりと受け止める必要があると考えさせられた。

今回の講座では小山さんをはじめ、鳳来総合支所の加藤さん、また昼食を準備していただいた奥様方に大変お世話になりました。学びが多い、充実した研修会となり、大変感謝しております。どうもありがとうございます。ありがとうございました。

『青年塾』9期生  
東海クラス 中村和敏

『青年塾』は『政経塾』の副塾長であった上甲 晃氏が主宰として「志高い青年を一人でも増やすこと」は、日本の

救いである」との信念で展開されています。



連谷小学校からの話題



児童による田おこし

千枚田のお百姓さんたちが愛地球博「地球の授業・昔の脱穀」で実演した稲ハザの稲をお米にしていたできました。

ふれあい教室・学芸会  
期日 11月26日(土)  
9時~3時30分  
場所 連谷小学校



今年学校ではだっしんがかわりました。今年もお米でふれあい教室をひらきます。学芸会もはじまりです。練習をがんばるのぞいで。今年はお米が去年よりゆきませんでした。

十一月四日、千枚田で米づくりの圃場一、二年生「みんなのたんぼ」・三、四年生「LOVE田」・五、六年生「働くなかよし隊」の全校生徒十四名が田おこしをしました。その時、いただいたお米を千枚田でお昼の給食におにぎりにして美味しくいただきました。千枚田の皆さんありがとうございます。



田吾作からのお知らせ

餅つき大会



期日 十二月十一日(日)、

9時~3時

場所 ふれあい広場  
協力費 お気持ち

有機無農薬で栽培した「鈴原糯」を、参加した皆さんが餅つきを体験、そして、つきたてのお餅を食べさせていただきます。

当日は、長巻寿司・猪鍋・バーベキュウなど盛り沢山の予定をしてお待ちしております。

田吾作は山都共生の理念から毎年、十二月上旬に餅つき大会を通し、都市交流の一環を担っています。

好評だった

サミットの地元対応

全国棚田(千枚田)連絡協議会発行の「棚田ライステラス」39号、棚田ネットワーク発行の「棚田に吹く風」10月号が届きました。内容は第十一回サミット

の感想が多く、中でも千枚田見学会における地元対応が好評でした。

○バスを降り、ここから歩いてもらいますと言われた時には、皆、不安そうな顔でしたが、地元の方達の次から次ぎへの心のこもった持てなしにビックリ、「疲れなど受け付けないよ」と言っているようでした。こんな私達のためにと、胸が熱くなり、ありがたの気持ちがいっぱいです。誰でも満足されたことと思います。「はねこみ」では飛び入り参加してしまいました。

熊本県 松田弘子さん

○サミットで良かったこと 遊歩道ではいろいろな催し物があり、感心しました。この準備には、多くの時間と労力があり、地元総動員での歓迎には、心を打たれました。ほんとうに有り難うございましたとお礼を言わざるを得ません。事例発表では小規模校の少数の発表ぶりには涙した私でした。今までになく素晴らしかった。もう一度VTRで見たい!! この発表を聞いて、四谷の千枚田の後継者は心配ないと、安心して帰路につきました。

静岡県 犬塚雅敏さん

げなげな斬 ⑩

十一月十三日、海老蜂愛好会により恒例のハチサミットが海老構造改善センターで百人の巣が出品され、競売された。ついでに蜂飯、蜂五平餅も売られ、盛況だった。げなげな...



ハイスガリの語源 万葉集の古語に蜂を「すがり」と言っている。このことから縄のような蜂、すなわち「ハイスガリ」が正統派であるのか。よく、「へボを追う」と言うが、へボは蜂の子のこと。土の中のへボなんか追えるわけやあない、ありやあ間違いだらあんの...

行 平成十七年十一月二十日  
鞍掛山麓千枚田保存会  
発 文 責 小山舜二